

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花 楽しくあいさつができる子
ほかほか花 相手の心を思いやることができる
きらりん花 きらきらと自分らしく輝く子



自分の命は自分で守る

1923年（大正12年）9月1日、関東地区を襲い、10万人以上の死者を出した関東大震災に由来して、9月1日が「防災の日」（8/30～9/5の期間を「防災週間」と定められました。

またこの時期は台風シーズンを迎える時期にもあたり、台風・豪雨・洪水・地震・津波

等の災害についての認識を深め、備えを充実・強化することで、災害の未然防止と被害軽減に役立つことが目的でもあります。学校では、実際にイメージした災害について、子供たちが正しい避難行動をとれるよう指導しています。



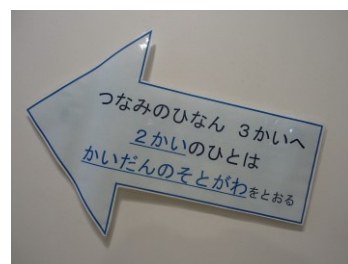
今年も、防災週間の期間に、授業中に地震が発生したという想定で、避難訓練を実施しました。この訓練は、一人一人が落下物から身を守るとともに、放送の指示をしっかりと聞いて、安全に避難するための判断力と基本行動を身に付けさせることをねらいとしています。訓練のための地震の音を放送で流した瞬間、子供たちはすぐに教室の机の下にもぐって身を守り、机が倒れないよう机の脚をしっかりとつつことができました。揺れが収まり、職員の避難経路の安全確認が終わるまで、ヘルメットをかぶって静かに整列することもできました。地震発生時は、まずは『（ものが）落ちてこない、倒れてこない、移動しこないこと』

を確認し、自分の身を守ることが大切です。来月には地震後に火災が起こった時の想定で避難訓練を実施します。

また、実際の災害時に速やかに避難できるよう、防災担当の先生のアイデアで、校舎のいたるところに写真のような避難ルートを示す案内板を床や壁に貼り付けました。さらに校舎の中央階段には、3階から避難してくる児童と2階から避難する児童が交差しないよう指示した案内板も床に貼り付けてあります。子供たちが安全に迅速に避難できる環境が整いました。

何度も繰り返される訓練とともに日頃から避難ルートを意識することによって、子供たちが『自分の命は自分で守る』という意識を高めていってほしいと願っております。

（教頭 角川 誠）





一人一人が全力を出しきって

三つの花を満開にした秋季大運動会 9月23日

今年度の秋季大運動会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初の予定から約2週間延期しました。昨年よりもさらにプログラムを縮小、加えて観覧者を6年生の保護者2名に限定して実施しました。観覧できないご家族のために、撮影した動画を当日午後には配信しました。

当日は開会式の途中から雨が降り、一時中断するというハプニングがありましたが、子供たちはスローガンのとおり、一人一人が自分の目当てに向かって全力を出しきった大変すばらしい運動会となりました。応援合戦は感染防止のため5・6年生だけでしたが、グラウンドいっぱいに広がって迫力ある演技を披露していました。

P T Aの皆様には会場の設営、子供たちの見守り、感染予防対策の取組、終了後の会場の後片付け、清掃等も行っていただき、安全で安心な運営をすることができました。この場を借りましてお礼申し上げます。



<競技の部> 1位 赤団 2位 白団 <応援の部> 応援優勝 赤団・黄団

10/4 ケーブルテレビNet 3 7:00/11:00/15:00/21:00
かがやきテレビなめりかわで本校の運動会の様子が放映されます